

未来にむけたまちづくり

H26年1月26日(日)
倉敷市役所 市民ホール

【主なご意見】

- 倉敷南高校で取り組んでいる町衆プロジェクトについての事例を紹介したい。
伝統的な美観地区の町屋を利用して、その利益で老朽化する町家を復旧したらどうか。
子育て世代の事務手続きの負担軽減のために、子育て応援カード(ICカード)を作成して書類記入を少なくしてはどうか。
- 岡山学院大学・岡山短期大学では、市と連携して取り組んでいる拠点整備事業(地域コミュニティの中核的存在としての大学の機能強化を図る)として、子育てカレッジを実施していきたい。
- 育児休業中には、小学校就学前の5・6歳の上の子どもは継続して保育所に入所できるが、3歳未満の子どもは退所しないといけない。本当は一番手がかかるので、3歳未満の子どもも継続して預かってほしい。
- 子ども子育て新制度で制度が変わると思うが、0～1歳の小さい子どもは保育資格がある人が保育しないと事故など防げれないと思うので、そういうところにお金をかけてほしい。
- 保育所の入所を、待機児童を優先するのか、育休あけの再入所を優先するのか難しいと思うが、年度途中から育休あけで復職する場合、定員いっぱいになり入所できないことが心配で、育休期間すべての休暇を取得しづらい。
- これからの観光は外国人に目をむけていかなければならないと思う。外国人目線で母国に向けて情報発信してもらったらどうか。
- 観光振興には、お金をかけずにおもてなしの心で観光客を迎えたり、口コミでPRしたりしてはどうか。
- JR倉敷駅から美観地区まで、将来の新交通システムとして、高架でリニアにしたらどうか。
- 水島は公害を克服して環境に配慮したまちづくりをしている。それを今、国外から視察に来られている。そういう学びができる倉敷としても、情報発信し、多くの方に来ていただいたらよいのではないか。